

工事期間中の避難施設について

2022年度に東京都が東京都地域防災計画を修正し、都内の避難者数推計の見直しがありました。

東京都での見直しを受け、町田市においても、2023年度に市内の避難者数推計の見直しを行い、その結果をもとに、2027年度から2029年度の工事期間中における南第一小学校に代わる避難施設の検討を行っておりますので、進捗状況をご報告します。

(1) 南第一小学校地区の避難施設別避難者推計の実施について

町田市全体及び南第一小学校の避難者推計の見直しの結果は、以下のとおりです。

施設名	旧避難者推計 (人)	新避難者推計 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
町田市全体	52,939	38,941	▲13,998	▲26%
南第一小学校	646	1,197	551	85%
南中学校	554	713	159	29%
都立小川高等学校	307	419	112	36%
南中学校（仮校舎）	—	—	—	—
南第一小学校地区計	1,507	2,329	822	55%

※新避難者推計は、町田市地域防災計画（2023年度修正）に記載のもの

(2) 工事期間中の避難施設について

(1)の避難者数の推計結果を受け、2027年度から2029年度の南第一小学校に代わる避難施設は「南中学校」、「都立小川高等学校」、そして「南中学校に建てる南第一小学校の仮校舎」への避難を想定しています。

2024年度に南第一小学校を避難先とする自主防災組織と、年度内を目途に新校舎建設期間中の新たな避難先の方向性を合意します。

新たな避難先の周知については、南第一小学校を避難先とする地域住民に対して、避難施設関係者連絡会及び避難施設開設訓練の場で行っていくとともに、地域や保護者等に対しても「まちだの新たな学校づくり通信」等で図っていきます。

2030年度以降の南第一小学校の代替の避難施設につきましては、現在の南第一小学校地に完成する新たな学校を避難施設として利用することで、適切な避難施設配置を維持します。

(3) 備蓄物資の移動について

現在、南第一小学校にある備蓄物資につきましては、分散備蓄※の考え方に基づき、2027年度の避難施設の移行後、速やかに移動します。

※分散備蓄…地域防災拠点や指定避難所等に分散して備蓄すること

(4) 2024年度のスケジュールについて

2024年7月以降 避難施設関係者連絡会にて、新たな避難先を決定・周知

※避難施設関係者連絡会が終了以降、「まちだの新たな学校づくり通信」等で新たな避難先の周知を行っていきます。